

財政状況

全項目で健全化基準をクリア

財政状況が良好かどうかを示す指標に、財政健全化判断比率(4分類)と資金不足比率があります。

【財政健全化判断比率】

区分	花巻市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— ㊦	11.85 ㊦	20 ㊦
連結実質赤字比率	— ㊦	16.85 ㊦	30 ㊦
実質公債費比率	10.5 ㊦	25 ㊦	35 ㊦
将来負担比率	97.7 ㊦	350 ㊦	—

【資金不足比率】

会計名	花巻市	経営健全化基準
公設地方卸売市場事業	— ㊦	20 ㊦
下水道事業	— ㊦	20 ㊦
農業集落排水等汚水処理事業	— ㊦	20 ㊦

注1…表中、各基準は国が示した数値です  
注2…赤字額、資金不足がない場合は、「— ㊦」で表しています

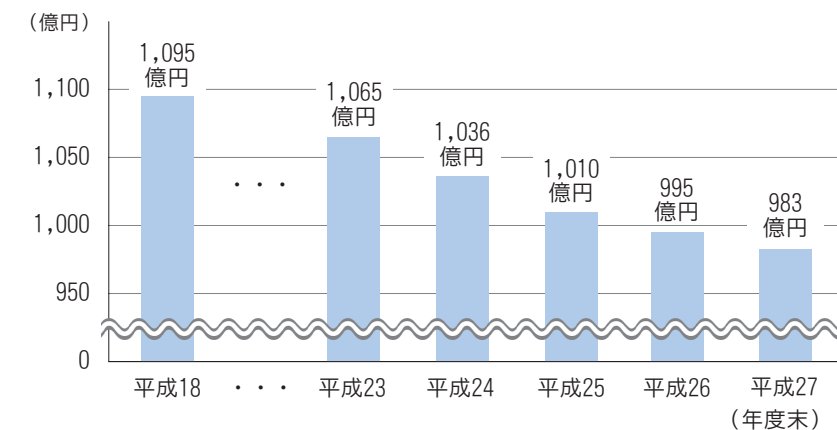
国が示すこの指標の判断基準により、市の財政が「健全団体」「早期健全化団体(要注状態)」「財政再生団体(破たん状態)」のいずれの状態にあるか、また各会計の経営状態はどうかを判断することができま

は、それぞれ法で定められた計画の策定を行い、財政の健全化を図ることになります。本市では、基準値を超える項目はなく、財政状況は健全であると言えますが、今後引き続き無駄のない財政運営に努め、一層の財政健全化に取り組んでいきます。

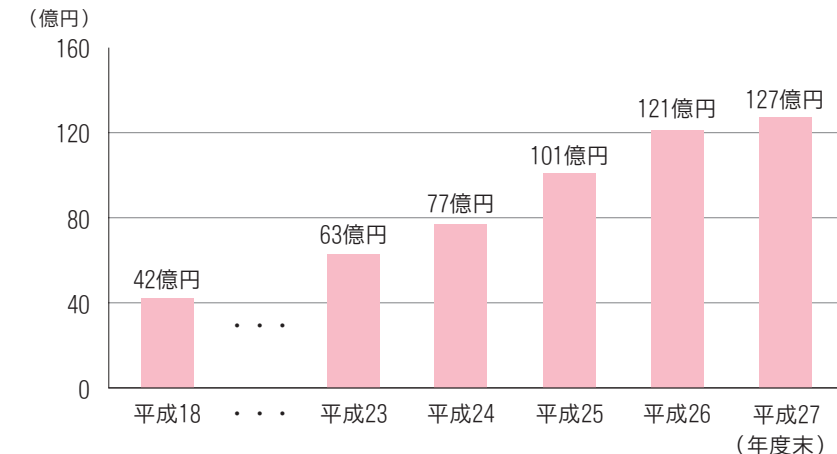
借金は減少、財政健全化を推進  
本市の地方債(借金)の平成27年度末現在高は、前年度末と比べ、およそ12億円減少しています。一方、主な基金(貯金)の平成27年度末現在高は、前年度末と比べ、およそ6億円増加しています。

**用語解説**  
▶実質赤字比率／普通会計(一般会計など)の赤字比率▶連結実質赤字比率／市の全ての会計(普通会計・特別会計・企業会計)を含めた赤字比率▶実質公債費比率／市の全ての会計に一部事務組合などの会計を含めたもので、公債費の財政負担を見るための比率▶将来負担比率／市の全ての会計と一部事務組合などの会計に第3セクターなどの会計を含めたもので、普通会計が将来、財政負担する実質的な負債(借入金残高など)を見るための比率▶資金不足比率／特別会計などの事業の規模に対する資金不足額の比率

■地方債(借金)現在高の推移  
※一般会計と特別会計の合計額



■主な基金(貯金)現在高の推移  
※財政調整基金、減債基金、まちづくり基金の合計額



決算などについて、詳しくは  
▶決算や財政状況については、本庁財政課へ問い合わせください▶平成27年度決算書、実施した事業の概要や成果をまとめた資料は、同財政課や各総合支所地域振興課、各市立図書館、各振興センターに備え付けているほか、市ホームページに掲載しています▶市の職員が予算や決算などの説明に伺う「ふれあい出前講座」もあります

花巻市は非核平和都市宣言のまち

非核平和への願い

本市は、全ての国の核兵器の廃絶と軍縮を願い、平成18年3月に「非核平和都市」を宣言しています。この宣言の理念に基づいて開催した「非核平和学習会」では、市内の子どもたちが戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさなどを学びました。学習会で子どもたちが感じたことを通して、平和の尊さについてあらためて考えてみましょう。

非核平和学習会に参加して



八重畑小6年  
佐藤 麗月 さん

たくさんの方々が戦争を2度と繰り返してはいけないということを、次の世代へと伝えていかなければならないという気持ちでそれぞれができる事を考え、行動に移しています。私は学習会に参加する事ができて広島の前爆のこと、戦争の恐ろしさを知る事が出来ました。私にできる事は、自分が聞いてきた事や見てきた事をできるだけ多くの友達や、家族に伝える事だと思います。平和という事がどれだけ幸せな事なのか、当たり前毎日の毎日がとても大切に思えます。

平和への願い



矢沢小6年  
菊池 絹 さん

私は、原爆の恐ろしさ、平和の大切さを学びたいと思い、非核平和学習会に参加しました。戦争で、私たちのような小さな命もたくさん亡くなっています。生きたくても生きられなかった、たくさんの命の分まで精一杯、生きていかなければと思いました。そして、私たちは戦争を知らないけれど、戦争というものが、どんなに悲惨で憎むべき行為かをきちんと次の世代に広めていくべきだと思います。小学校最後の夏休みに貴重な体験ができたことに、とても感謝しています。

平和への願いをこめて



八重畑小6年  
大竹 理子 さん

私は、この非核平和学習会に参加して、原爆のおそろしさや悲しさ、命の大切さ、平和のありがたさを改めて知ることができました。自分の大切な家族や友達が原爆によって死んでいくのを私は絶対に見たくありません。戦争を二度と繰り返さないように、原爆という絶対悪を誰にもあたえることがないように、この学習会で学んだことを多くの人に伝えていきたいです。そして、私と同じ気持ちになってくれる人が増えて、平和への第一歩につながってほしいと願っています。

※掲載している感想は、非核平和学習会に参加した児童が書いた感想文の抜粋です。全文は文集に取りまとめ本庁総務課に備え付けているほか、市ホームページに掲載しています